

# 概要

- ・ 初登場：New Mutants #98（1991年）
- ・ クリエイター・アーティスト：ファビアン・ニシーザ、ロブ・ライフェルド

---

## 設定

### プロフィール

- ・ 本名：ウェイド・ウィルソン
- ・ 種族・人種：ミューテイト（後天的ミュータント）/アメリカ人
- ・ ホームタウン：
- ・ 現参加チーム：X-FORCE、デッドプール・コープス
- ・ 過去参加チーム：[シックスパック](#)

### オリジン

傭兵だった彼は悪性肺ガンに侵された為ウエポンX計画に自発的に参加。ウルヴァリンのヒーリングファクターを移植され、命を繋ぎ脅威の回復能力まで得たものの焼け爛れた醜い容姿に変容してしまい、さらには精神にも異常をきたしてしまう。普段は醜い容姿をコスチュームで隠している。ちなみに彼はマスク無しでは電話にも出ない、顔見えないってば、と思いきや平然と自分から顔を見せたりもする。また、ウエポンX計画の副作用により、精神面でも非常に不安定である。常人とは違う狂った視点で世界を見ており、それが彼を愛くるしいコメディ・リリーフとする事も、冷酷なキラー・サイコパスとする事もあり独特の造詣を持ったキャラクターである。また、彼は金で動く傭兵である。武器は銃やカタナなど、『口数の多い傭兵』と呼ばれるほど口が軽いのが特徴。好物はメキシコ料理のチミチャンガ。会話の際には黄色いフキダシを使う。思考の際には黄色いボックスである。さらにコミックブックのキャラクターが気付いてはいけない事に気付くことがある。前述のフキダシも彼には見えているようだ。

### シークレットインベーション

- ・ ニック・フューリーの依頼でスクラル艦に乗り込み、スクラル女王の弱点を探り出す任務に就く。
- ・ 激闘の末にスクラルに捕まってしまい、スクラルは彼の力を利用すべくクローンを作成し、彼自身を教官として用いるが、彼はそのスクラルクローンデッドプール達に彼の「狂気」までも正しく教え込んだ。
- ・ 混乱の渦と化した敵艦で、彼は無事任務を成功させるが、フューリーに送るはずだった女王のデータはノーマン・オズボーンに横取りされてしまった。

### ネイションX

- ・ X-MENに仲間入りしたくて仕方ない彼は、サイクロップスのユートピアに合流しようとするが、サイクロップスに拒絶されてしまった。

- どうしても自分のユートピア入りを認めて欲しかった彼は、自作のX-MENタイツに身を包み、娘を連れ去られたとサイクロップスを訴えようとしていたマーキュリーの父親を暗殺してあげれば、きっと認められるに違いないと思い込み、行動に移ってしまった。
- すんでの所で暗殺は阻止されたが、彼がサイクロップス & X-MENの名を使って暗殺を目論んだ様子は、全てTVで中継されてしまった...

## ネクロージャ

- ユートピアにある自室で人形遊びをしていると、ロアの悲鳴を聞き駆けつける。そこで復活したファビアン、メレンキャンプ、デルガドと遭遇した。

---

## 能力・技能

ヒーリングファクター

強化身体能力・銃・刀

異常精神

マーシャルアーツ

テレポート（ケーブルがテレポートすると強制的に引っ張られる）

不死の呪い（サノス）

第4の壁の破壊（コミックのお約束や文法を無視）

「第4の壁」とは舞台の用語で、「（舞台から見て）演劇には右の壁、左の壁、後ろの壁の他に『前の壁』がある」という意味。

つまり、演じている間はお客さん側も「壁」であり、お客さんはそこにいないという前提で役者は演じている。

漫画でも同じく、登場人物は読者 = お客さんはいない、作品世界こそが唯一の世界という前提で話を進めているが、

デッドプールはこの「お約束」を破り、見ている人がいることを知っている...というキャラなのである。

なので、平気で読者や作者にツッコミを入れたり、自分がコミック世界の住人であることを言ったりする。

『マーヴルvsカプコン3』の勝ちポーズでこちら側に向かってくるのは、この演出を再現しているのである

---

## 登場作品一覧

- 主役

Deadpool(Vol.1)（ミニシリーズ）

[Deadpool\(Vol.2\)](#)（オンゴーイング）

Agent X（オンゴーイング）

Cable & Deadpool（オンゴーイング）

Deadpool(Vol.3)（オンゴーイング）(2008年-)

- 単行本

Deadpool: The Circle Chase

Deadpool: Sins of the Past

Deadpool in Mission: Improbable

Wolverine/Deadpool: Weapon X

Cable & Deadpool 1: If Looks Could Kill

Cable & Deadpool 2: The Burnt Offering  
Cable & Deadpool 3: the Human Race  
Cable & Deadpool 4: Bosom Buddies  
Cable & Deadpool 5: Living Legends  
Cable & Deadpool 6: Paved With Good Intentions  
Cable & Deadpool 7: Separation Anxiety  
Deadpool Vs. The Marvel Universe  
Wolverine Origins 5: Deadpool  
Deadpool 1: Secret Invasion  
Deadpool / Thunderbolts : Dark Reign  
Deadpool 2: Dark Reign  
Deadpool 3: X Marks The Spot  
Deadpool 4: Monkey Business

Deadpool Classic 1  
Deadpool Classic 2

---

## メディア展開

### 実写映画

- X-MEN ORIGINS: ウルヴァリン

ライアン・レイノルズがデッドプール役を務める。

ただし、あまりにもコミック版とかけ離れたキャラだったのでアメリカでは大不評。  
コミック版のデッドプールが映画版のデッドプールを惨殺するファンアートまで作られた。  
デッドプールになる前の傭兵（ウェイド・ウィルソン）は比較的コミック版に近い。

- X-MEN ORIGINS: デッドプール

デッドプールの主演スピンオフ。

ライアン・レイノルズがデッドプール役を務める。

### アニメ

- ハルクvsウルヴァリン（日本発売未定）

### 小説

### ゲーム

- X-MEN LEGENDS Rise of Apocalypse

ゲームクリア後、プレイヤーキャラクターとして使用可能

- マーベル：アルティメット・アライアンス

プレイヤーキャラクターとして使用可能。

Weasel、ブラック・ウィドウ、S.H.I.E.L.D.エージェント、  
ジャービス、エンシェント・ワン、ハルクピム、ヴァルキリー、ニック・フューリー、  
ブラックボルト、アーケード、ダークスパイダーマンに対して会話イベントあり。

- 声が非常に強力な音波になっているブラックボルトを意地でも喋らせようと試みる。

- レベルアップ時にはウルヴァリンの口癖「俺の右に出る者はいやしねえ」をパロった「俺の右に出るウルヴァリンはいやしねえ」というセリフを言う。
  - 日本語版でも音声は英語のため、数々の彼の軽口を原語で楽しむ事ができる。ターラ
- Marvel vs Capcom3

プレイヤーキャラクターとして初参戦。このゲームでもやりたい放題で、戦闘中に鼻歌は歌うわ SHORYUKENするわ（コミックでも実際にやった）  
体力&スパコンゲージ掴み出して鈍器に使うわ、バンバンバンとか言うわテレポート失敗するわ、勝ったらプレイヤーに文句言うわ  
ムービーでカッコよく決めた後にモリガンに肛門を（アッ!）されるわ、デッドプールらしさ全開な模様。  
声優は Hulk vs. Wolverineからの続投で、ノーラン・ノース氏。  
続篇のUltimate Marvel vs Capcom3では、ダウンロードコンテンツとして、ケーブル風コスチュームが登場した。

---

## 関連キャラクター

### ヒーロー

- ケーブル
- ウルヴァリン
- ドミノ
- グレートレークス・イニシアチブ
- スパイダーマン
  - デッドプールが一方向的に友人だと思っている。

### ヴィラン

- タスクマスター
  - ヴィランというよりかはただの腐れ縁に近い。オズボーンがアベンジャーズをのっとした際、デッドプールはオズボーンに不満を抱き、抗議したが返り討ちにされかけ、タスクマスターと手を組んだことがある。この際デッドプールはタスクマスターに自身の予備のタイツを渡して、自分に成りすまさせた。
  - 2人そろったため、偽物だということがばれたが、正体がタスクマスターであるということまではばれなかった。このときデッドプールはサンダーボルツに首を切られたが、蘇生している。
  - サンダーボルツを打ちのめした後、デッドプールはタスクマスターとともにオズボーンのキャッシュカードを盗み、ATMから大金を引き出した。
- T-RAY
  - 一時期、存在を無かった事にされるも「しったことか」と復活

### その他

- ウィーゼル
  - スパイダーマンの高校時代のクラスメート。科学者

- ・ ボブ

AIMの戦闘員

。

---

## 備考

- ・ DCコミックスのティーンタイタンズに登場するデスストロークへの類似点が多い事も有名である。

ニューミュータンツにおいて、新キャラクターとして敏捷な傭兵『デッドプール』を出す事を提案したのはロブ・ライフェルドであった。

しかし、ライターのパビアン・ニシーザはこのキャラクターの外見や設定をデスストロークの盗作であると感じた為、陽気で口数の多い性格に変更した。

ニシーザの考えたデッドプールの本名「ウェイド・ウィルソン」はデスストロークの本名「スレイド・ウィルソン」へのオマージュである。

また、Superman/Batman Annual #1 (2006年) に出てくるアース3のデスストロークはどう見ても彼である。名前を名乗ろうとするたびに他のキャラに妨害されていたが、デッドプールと名乗ろうとしたのは定かではない。(同作のライターはジョー・ケリー。かつてデッドプールの連載で人気を博していた彼の遊び心である。)

- ・ 不死の呪いは彼が死亡し、死後の世界に行った際あまりにもデスとラブラブだった為、嫉妬したサノスが二度と会えないように死ねない呪いをかけた。

だが、その後も何度か二人はあうことがあったらしい。

- ・ 彼はピーターがメフィストと契約した事を知っている唯一の人間である。

- ・ ネバーランドに突入し、マイケル・ジャクソンと競演した事もある。